

(参考様式 6)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

ふりがな	いしばしちくかっせいかけいかく
活性化計画名	石橋地区活性化計画
ふりがな	しもつけし
計画主体名	下野市
計画主体コード	092169
計画期間	平成 28 年度～平成 30 年度
事業実施期間	平成 28 年度
活性化計画区域	栃木県下野市石橋地区

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) $C = B / A$	備考
交流人口の増加	13,840 人	35,005 人	253%	
地域産物の販売額の増加	84,167 千円	93,138 千円	111%	
イベント開催回数	12 回	31 回	258%	

(コメント)

国道 352 号線沿いに石橋地区都市農村交流施設「ゆうがおパーク」を整備したことにより、施設内の農産物直売所、農産物加工所を一体的に活用し、地域で生産される新鮮な農産物や地元産の材料を使用した付加価値の高い加工品の販売等を行い地域農業の活性化と地産地消の推進を図った。

また、地域振興の拠点として積極的にイベント等を実施することにより都市住民との交流促進、誘客拡大が図られ、目標である「交流人口の増加」、「地域物産の販売額の増加」、「イベント開催回数」全てにおいて目標を達成することが出来た。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	地域資源活用総合交流促進施設（受入機能強化施設）	
事業内容及び事業量	農産物直売施設及び加工施設 1棟 417.63㎡	
事業実施主体	下野市	
管理主体	下野市	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
平成28年度	平成28年度	平成29年4月10日
事業の効果	<p>地域振興拠点施設として、農産物直売所、農産物加工所を整備し、地元農産物の直売や地元農産物を活用した加工品の開発・販売を行ったことにより、地域の農産物の販売額の増加に繋がった。</p> <p>また、都市農村交流プロジェクトとして隣接する農村公園や集会所において実施する、農業体験や地域の伝統文化にふれる活動の受入施設として機能することにより都市住民との交流の拡大が図られた。</p>	

(3) 総合評価及び今後の方針

(コメント)

地域振興拠点施設として、農産物直売所、農産物加工所を整備したことにより、地域農業の活性化をはじめ、活性化区域外の都市部からの集客により、交流人口、販売額は年々増加傾向にある。一方で、農業人口の減少に歯止めが利かない状況は続いており、引き続き地域の活性化に向けた取り組み強化が必要な状況である。

今後は、新たな加工品の開発や農産物のブランド化の取り組みを行うことで、地元ファンづくりと遠方からのリピーターの確保を図り、更なる集客力の強化を行う。

(4) 第三者の意見

(コメント)

事業活用活性化計画目標である「交流人口の増加」、「地域産物の販売額の増加」、「イベント開催回数」の数値目標が達成されているが、これは事業計画に基づき事業が確実に実施されたからであり、事業の実施過程及び成果、事業効果も妥当であることを確認した。

2 活性化計画の目標の評価等

(1) 活性化計画の目標の達成状況

活性化計画の 目標及び達成度	目標	<p>農産物直売所、農産物加工所を一体的に整備し、地域で生産される新鮮な農産物や地場産の材料を使用した付加価値の高い加工品の販売等により、地場産業の活性化と地産地消の推進を図るとともに地域振興の拠点として都市住民との交流促進、誘客拡大を図り、交流人口の増加と消費拡大による地域活性化を図る。</p> <p>また、加工部会は農家の女性を中心に組織されており、施設運営と合わせ女性の能力の積極的な活用に向けた取り組みを推進する。</p>		
		目標値 A	実績値 B	達成率 $C = B / A$
交流人口の増加		13,840 人	35,005 人	253%
地域産物の販売額の増加		84,167 千円	93,138 千円	111%
イベント開催回数		12 回	31 回	258%

(2) 今後の方針

(コメント)

年間を通じて安定的に農産物を販売できる農産物直売所や効率的な製造が可能な加工施設が整備されたことにより、地域農業の活性化が図られたが、更なる「稼げる農業」、「楽しめる農業」の向上を目指すために、優良な農産物の生産と地域ブランドの育成を促すとともに、農業従事者の労働意欲や女性農業者が活躍できる体制づくりの強化や、地域連携のための住民同士の交流や都市住民との交流促進、誘客拡大を積極的に図っていくこととしたい。

(3) 第三者の意見

(コメント)

石橋地区都市農村交流施設「ゆうがおパーク」の運営については、オープンから3年が経過し、目標である「交流人口の増加」、「地域産物の販売額の増加」、「イベント開催回数」の数値目標は達成したものの持続可能な運営を実現するためには、経営を担う地域農業者等が経営の専門性、ノウハウ等の向上を図り、高齢化に対する世代交代などを進めるとともに、地元の農畜産物のブランド化・高付加価値化、観光事業との連携、市内外の類似施設との連携・棲み分け・差別化などに取り組んで行く必要がある。